



地域と歩む放送局

エフエムなかそらち 20周年

今年開局から20周年を迎える「エフエムなかそらち」。愛称の「G'sky」は「がんばろう、元気=G」と「空知=Sky」から取られたもので、地域を盛り上げ元気にしたいという思いが込められています。地域に根ざし、地域とともに歩んできた、私たちにとって最も身近な放送局、「楽しく」「わかりやすく」「役に立つ」、『なかそらち』の元気な声に耳を澄ましてみませんか？



地域の声から
生まれた放送局

FM G'skyの始まりは、平成12年に4か月間の期間限定で実施された試験放送でした。空き店舗を活用したスタジオ

には毎日多くのボランティアが集まり、創意工夫を凝らした地域発のラジオ放送は大変好評となりましたが、人口規模や資金面の問題など多くの障害があり、本放送の開始は難しいとされていました。

しかし、市内中学生から「本物のラジオを」という署名が集まったことや、放送再開を熱望する声が多かったことなどが後押しとなり、若手事業者などが中心となって短期間で出資金の確保に成功、試験放送終了から約1年後、「エフエムなかそらち」は道内15番目の地域FM局として産声を上げました。



みんなで作る
みんなのラジオ

現在FM G'skyを支えているボランティアは約150人。毎日放送されている番組の多くは、地域に住む方々の手で作られています。試験放送から20年以上続く

ている長寿番組から、高校生や短大生が代を重ねて続けている番組などがあり、バラエティに富んだタイムスケジュールには、地域に住む皆さんの熱意とアイデアが詰まっています。



「いこも」も「いざ」も
役立コ放送

災害情報はもちろん、台風や暴風雪などの気象情報、交通情報、熊の出没情報など、いざというときにすぐに知りた地域域の情報を即時性を持って伝えてくれるのがFM G'skyの強みです。胆振東部地震発生に伴う全市停電時の臨時放送は記憶に新しいのではないのでしょうか。

災害時以外の平時においても、新規オープンのお店の情報や、新聞折込チラシのお得な情報、SNSでの話題などさまざまな媒体から集められた、生活に役立つ最新の情報が提供されています。

また、リスナーから寄せられる声も重要な情報源です。あなたの身近にある情報が、電波を通して誰かの役に立つことがあるかもしれませんので、お気軽にお寄せください。

REC この先も皆さんに最も近い声であるために

エフエムなかそらち社長/放送局長 山口清悦さん(ヨシツネさん)

開局当時は運営や持続は難しいとされていたFM G'skyですが、ボランティアの皆さんやスポンサーの皆さん、そしてリスナーの皆さんに支えられ、無事20周年を迎えることができました。

FM G'skyのモットーは「出演する人も情報も中空知限定」「なるべく多くの人に関わってもらおう」。基幹放送局の番組を買取って放送している地域FMが多い中、これほど地域の皆さんの参加による自主制作番組が多い局は、なかなかありません。

FM G'skyの今後については、インターネットラジオの実施も検討しており、さらにさまざまなツールを活用して、より身近に、より便利に進化させていければと考えています。

「地域に放送局を」という20年前から続く熱い思いはそのままに、これからも地域の生の情報を皆さんにお届けしていきますので、この先の20年もどうぞよろしくお願いします。

